

先生に質問したい あんなことやこんなこと

Q&A

美術は好きだけど、
将来、やりたいこ
とが決まっていま
せん。

A.美術の様々な経験を経て、将来を見据えます。
1番大切なことは、「美術が好き」という気持ちです。美術科では、皆さんの好きをより育むために、日本画・油絵・彫刻・デザインの専門的な実技授業や制作合宿、東京研修、ヨーロッパ研修旅行、卒業制作展など美術科ならではの様々な企画が用意されています。そして、それらの経験を通して、将来の夢を育てていきます。

友達ができるか
不安です。

A.美術が好きな集団なので、すぐに打ち解けます。
美術科の教員も含め、好きなことが似ている個性豊かなメンバーが集まっているので、共通する趣味や話題で意気投合できます。そして、高い進路目標をもった仲間と共に切磋琢磨し、自分自身を磨き上げられる環境がこの美術科にはあります。

授業以外でも
作品制作がしたい。

A.授業後のアトリエを自由に利用できます。
美術科では個々の自主的な活動を重んじています。放課後、土日もアトリエを自由に利用できます。そのような中で同級生や先輩と作品について議論を交わし、教え合うなど学年を超えた交流ができます。自主的な活動を積極的に行い、自身の課題についてじっくり向き合うことが上達の鍵になります。

美術科で学んだこ
とは社会に役立つ
のでしょうか？

A.真に信頼され事を任せうる人材として幅広い分野で活躍しています。

美術系の大学に進学するためのコースとして美術科が設立され、今年で30年目になります。これまでに、教員やアーティスト、デザイナーなど美術系の仕事に就く人材を世に多く輩出しており、国内だけでなく世界で活躍しています。それ以外にも観察力・発想力・プレゼンテーション力など美術を通して身に付けられる能力は社会で生きていく上で、きっと役に立っていくことでしょう。

美術科の進学実績
について教えてく
ださい！

A.国公立大学合格者数15名輩出！（現役のみ3ヶ年実績）

2022年卒業生は、4名が国公立に現役合格（2020年卒業生7名、2021年卒業生4名）をしています。合格実績（2012～2022年卒業生）では、**東京藝術大学11年連続合格者を輩出**（※浪人生含む）しています。（詳しくは、P.5を参照）

美術科のご案内2023



東邦高等学校
TOHO HIGH SCHOOL

美術科は、30周年を
迎えました！



東邦高校
美術科ページ

2023 美術科紹介

1.「美術科」の目標

- ◆ 美術やデザインの分野を通し、社会・文化への貢献に寄与できるスペシャリスト(専門家)を育成する。
- ◆ 芸術分野としての美術・デザインについて、表現と理論の双方から幅広く学び、自己理解・他者理解を深めると共に豊かな情操と感性を養う。

2.「美術科」の特色

① 充実の専門科目カリキュラムと指導

(1) 4つの専攻「日本画」「油画」「彫刻」「デザイン」

1 年 次	2 年 次	3 年 次
○ 素描	○ 素描	○ 素描
● 絵画(日本画／油絵) ● 構成(彫刻／デザイン) ○ 総合探究 (CG) ○ 美術概論	● 日本画 ● 油絵 ● 彫刻 ● デザイン ○ 総合探究 (進路研究)	● 日本画 ● 油絵 ● 彫刻 ● デザイン ○ 総合探究 (卒業制作) ○ 美術史 ○ 鑑賞研究
● 全専攻を履修	● 2専攻を履修 2学期より1専攻	● 1専攻を履修

(2) 制作時間の充実と細やかな指導

- ◆ 確かな観察力と表現力が身につけられるよう、1年次より素描指導に重点を置いています。素描は、毎週木曜7限補習授業(15:40～16:30)を展開します。また、構成の授業でも金曜7限補習授業を実施しています。
- ◆ 土曜日には「土曜アトリエ」としてアトリエ施設を開放し、各自の課題にそって制作ができるよう体制をとっています。自立的な制作姿勢を培う場としています。
- ◆ 4専攻を軸に、多くの教員が関わってマンツーマンによるきめ細かい実技指導を展開します。一つの課題に対して複数の教員が指導助言を行うことで、幅広い視野と表現力を養うことができるよう心がけています。

(3) 美術科の専門性

- ◆ 3年間を通して、伝統的な日本画の技法研究、油絵の古典技法、デザインのCG授業や写真実習、彫刻の粘土や鉄を使った立体造形など各専攻の専門性を深めていく授業を展開していきます。
- ◆ 生徒たちが豊かで健全な制作の発想や知識を得られるよう、「美術概論」や「美術史」、「鑑賞研究」など美術理論の学習を通して、美術・デザインの歴史や様々な作家たちの精神などを学びます。

② 制作意識を高める

将来にわたりプロとしての真摯な制作姿勢を身につけるためには、集中した制作時間や好奇心を持つ体験は重要です。入学から卒業まで、制作合宿や美術展、また各種コンクール等への積極的な参加と鑑賞活動を通して、生徒たちの視野を広げます。

(1) 1年生夏期制作合宿

毎年、全員参加にて2泊3日で実施しています。絵画(油彩又は水彩)の作品を制作。毎晩、絵画理論や作品講評などを行います。

(2) 1年生東京研修

東京藝術大学の卒業制作展や美術展鑑賞の企画を行っています。校外企画は、生徒たちに大きな刺激と貴重な体験の機会となっています。

(3) ヨーロッパ研修旅行

美術科2年生の秋にヨーロッパ研修旅行を実施しています。2022年度(11月10～17日実施)は、イタリアにて、ローマやフィレンツェ、ヴェネツィアの3都市を7日間にて訪問し、ヴァチカン美術館やウフィツィ美術館、ヴェネツィア・ビエンナーレまで、約2500年間の新旧の美術品の数々を鑑賞しました。2023年度は、フランスのパリ市内を中心にルーブル美術館やオルセー美術館、ポンピドゥー・センターなどを6日間で巡る予定です。(2024年度は、フランスのパリを予定)



ヴェネツィア,サン・マルコ広場にて
サン・マルコ寺院(背景)

(4) 朝デッサンと朝読書

平日の毎朝「朝デッサン」を1年生全員参加で実施します。この後は、全校で取り組んでいる「朝読書」に続きます。緊張感と集中力を高める朝となっています。

(5) 「未来の芸術家たち」展

- ◆ 例年、愛知県美術館にて卒業制作「未来の芸術家たち展」を開催してきました。これまで、新聞やテレビ局などのメディアにも取材され、多くの来場者を記録しています。卒業制作は、高校生活の集大成であり、生徒自身にとっては初めての作品発表となる重要な行事です。2023年度は、「美術科30周年記念展」も同時開催します。
- ◆ 卒業制作は、専攻毎に2年生後半から導入が図られ、3年生「総合的な探究の時間」も活用し展開しています。

③ 進路指導

(1) 体系的な進路指導

- ・1年次 社会で働く専門家の話を聞き分野への理解を深めます。
- ・2年次 大学見学や模擬授業等を通して卒業後のイメージをより具体化します。
- ・3年次 大学別ガイダンスや各芸大・美大合格者の作品鑑賞会を通し、自らの制作目標を明確にします。

(2) 芸大・美大への受験指導

- ◆ 生徒個々の進路希望を尊重し、表現力向上を目指して入試直前まで細やかな受験対策指導を行います。
- ◆ 一般教科の学力補強のために、教科ごとに平日放課後補習や土曜講座、夏期補習などが用意されています。
- ◆ 実技力補強は、夏休み中に前期と後期で夏期補習の実施や外部からの講師を招聘しています。

④ 美術科入試

(1) 東邦高等学校 美術科 実技試験内容・評価方法・評価の観点

美術科の入学試験では、実技試験を行います。その内容は推薦入試、一般入試ともに共通で、以下の内容で行います。

実 技 試 験 内 容	
実技内容	鉛筆素描(デッサン)：「自分の手」に与えられたモチーフを持って描く。
試験時間	140分
持参用具	鉛筆 (3H～3B程度のもの数種類)、消しゴム、練り消しゴム、カッターナイフ(鉛筆を削るため)
用 紙	B 3 M画用紙(縦横自由) ※画用紙やカルトン、画鋏は、本校で用意します。
試 験 の 評 価 方 法	
配 点	3教科(国語・英語・数学)平均100点満点 + 実技100点満点 = 200点満点
実 技 試 験 評 価 の 主 な 観 点	
構 成 力	ねらいを明確にモチーフと手を構成し、画面に、バランスよく配置できている。
形 態 の 把 握	比例・量感などを中心とした形態への観察と表現的確かさがある。
色彩、空間などへの感性	色彩や空間の意識など、自然への素直な眼差しや感じ方を持っている。
制 作 姿 勢	対象に迫る粘り強い制作姿勢がある。

過 去 の 実 技 試 験 の モ チ ー フ		
年 度	推 薦 入 試	一 般 入 試
2023年度	自分の手に「輪投げチョコレート」を持つ	自分の手に「シューズたわし」を持つ
2022年度	自分の手に「三千本和膠」を持つ	自分の手に「アポロチョコレート」を持つ
2021年度	自分の手に「サランラップ」を持つ	自分の手に「セロテープ」を持つ
2020年度	自分の手に「牛乳石鹸」を持つ	自分の手に「タレ用ポリ容器」を持つ
2019年度	自分の手に「杓」を持つ	自分の手に「シャトル」を持つ
2018年度	自分の手に「ダーツの矢」を持つ	自分の手に「薬味トング」を持つ
2017年度	自分の手に「クリップ」を持つ	自分の手に「箱入りチョコレート」を持つ
2016年度	自分の手に「風車」を持つ	自分の手に「マーカー(マジック極太)」を持つ
2015年度	自分の手に「三ツ矢サイダー250ml缶」を持つ	自分の手に「エビアン330mlペットボトル」を持つ
2014年度	自分の手に「クノールコーンポタージュ箱入り」を持つ	自分の手に「カップヌードルミニ」を持つ

(2) 過去の入試合格者作品



⑤ 進路実績

■ 東邦美術科卒業生の進路実績

	年度(西暦)	1993～2011		2012		2013		2014		2015		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		総計	
	現役/浪人	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪		
国公立大学	東京芸術大学	4	21	1	2	1			1		1		1	1	1	1		2		3		1	1			42	
	筑波大学	10		2				2				1		1		1		1		1		1				20	
	愛知県立芸術大学	26	47	2	4		5	4	2	1	2	1	3	2	4	4	1	2	1	3	1	2	5	1	1	124	
	金沢美術工芸大学	10	12					2			3	2	1		1		1	2		1		1				36	
	京都市立芸術大学				1																					2	
	愛知教育大学	1						1		1																3	
	富山大学	1																								1	
	岩手大学	1																								1	
	三重大学	1																								1	
	静岡大学	1																								1	
	長岡造形大学												1						1							2	
	広島市立大学	3	3		2																					8	
	尾道大学	1											1		1									1		4	
	沖縄県立芸術大学	3	1	1			1				1								1							8	
	静岡文化芸術大学	5							1						1	2		1		1					1		12
私立大学	武蔵野美術大学	8	8	1	1	4	2		1	3	1	3	4	3	4	1		1	1	3	2	3				54	
	多摩美術大学	13	14		5	1	1	1	5	3	4	2	3	2	3	2	3	4	2	4	3		3	1	1	80	
	東京造形大学	11	10					1	1													1				24	
	女子美術大学	7	6									4		1		1		1		1				2	1	24	
	日本大学	3	3																							6	
	東京工芸大学	1																								1	
	名古屋芸術大学	259	41	11	1	12	2	12	2	5	4	17	2	17	2	2		3		15	1	7		6		421	
	名古屋造形大学	67	11	2		3		1	1	3	2					8		3	2	8		2	1	6		120	
	愛知産業大学(デザイン)	4																								4	
	大阪芸術大学	16	4					1		1		1	1	1	1	1		1			1				1	30	
	京都精華大学	12	8	1		1		2	1				1		1			1		1						29	
	京都芸術大学	9	10	1		2		2	1	1	1		1		1			2		1	3	3	1	3		42	
	宝塚造形芸大	2																								2	
	成安造形大学			1								2		2		2		3								10	
	東北芸術工科大学		8				2			1							1			2	1	2				17	
	東海大学(美術)	2																								2	
	倉敷芸術科学大学	2	1																							3	
	名古屋学芸大学	10	1	1		2		1		1						3				1				1		21	
	金城学院大学	3	1												1											5	
	愛知淑徳大学									2																2	
	その他	16	1	1		2				2								2									24
	短期大学	名古屋造形短期大学	46	3																							49
		金城学院短期大学	3																								3
嵯峨美術短期大学		16	2																							18	
京都造形短期大学		4	1																							5	
武蔵野美術短期大学		1																								1	
女子美術短期大学		4																								4	
奈良美術短期大学		2																							2		
その他		22																				3				25	
留学	6	2																						1			
専門	68	4		1	1		1		5		1		1		1		1		3		2		1				
就職	19										2		2		3		1				2		1				
その他																			1								
小計	703	224	25	17	29	13	32	15	30	18	36	18	34	21	32	6	28	10	46	23	29	11	26	4			
総計		927		42		42		47		48		54		55		38		38		69		40		30			
国公立 現役合格		67		6		1		10		3		4		5		8		6		7		4		4			

4. 東邦美術科のこれまでの主な歩み

平成 3(1991)年	普通科に「美術デザインコース」設置
平成 5(1993)年	「美術科」開設 2クラス体制でスタート(次年度以降1クラス募集に変更) 普通科・商業科・美術科の3学科体制となる
	第1回卒業制作展「未来の芸術家たち展」を開催(於:電気文化会館東西ギャラリー)
平成 6(1994)年	彫刻棟竣工(旧校舎) 美術デザインコース1期生卒業
平成 8(1996)年	第4回卒業制作展は愛知県美術館(芸術文化センター)にて開催(以後、例年、県美術館で開催)
平成13(2001)年	第9回卒業制作展は、新商業科グラフィック・デザインコースも参加(以後、毎年合同展として開催)
平成14(2002)年	「全国美術高等学校協議会」の加盟校(約60校)となる 県内私学唯一の美術高校として、毎年、旭丘高等学校と共に協議会発表に参加
平成19(2007)年	新校舎竣工にともない、特別棟 4 階に日本画室、油画室、デザインABC3室、素描室、 1 階には彫刻室、3階にはマッキントッシュ室等が完成する
平成23(2011)年	2011.12.13現役で3年連続東京藝術大学合格を果たす
平成24(2012)年	12月パリ研修旅行実施
平成25(2013)年	「全国美術高等学校協議会」全国大会を会長校として実施 美術科20周年記念誌を発行
平成26(2014)年	11月ヨーロッパ修学旅行実施(パリにて)
平成27(2015)年	「全国美術高等学校協議会」本部事務局に就任(～2019) 11月ヨーロッパ修学旅行実施(パリにて)
平成28(2016)年	「全国美術高等学校協議会」本校にて臨時総会開催 12月沖縄修学旅行実施
平成29(2017)年	11月ヨーロッパ修学旅行実施(イタリアにて)
平成30(2018)年	8月ドイツ・ブルグ・ビヒンシュタイン美術大学ウリツ・クリーバー特別講義 11月ヨーロッパ修学旅行実施(イタリアにて)
令和元(2019)年	11月ヨーロッパ研修旅行に名称変更、実施(イタリアにて)
令和 4 (2022)年	11月ヨーロッパ研修旅行実施(イタリアにて)
令和 5 (2023)年	3月美術科創作棟竣工 7月美術科30周年記念特別講演 奈良美智氏 来校 創作棟にて実施 11月美術科30周年記念展 愛知県美術館にて卒業制作展と同時開催 美術科30周年記念誌を発行

今年は、「美術デザインコース」の開設から33年目となります。100年に及ぶ東邦の歴史の中では新しい学科ですが、毎年、国公立芸大や難関私大をはじめとした美術・デザイン系大学に多くの生徒たちが挑戦し、着実な成果を収めてきました。卒業生たちの多くは、作家やデザイナー、漫画家、キュレーター(学芸員)、美術教育の指導者などとして、専門分野で活躍しています。



授業風景(彫刻石膏取り実習)

5. 卒業生インタビュー



**白井美羽さん 東京藝術大学美術学部彫刻専攻 1 年生
令和4（2022）年度卒業**

私は、美術科に入って同じ美術を志す友達に出会い、切磋琢磨し、ここまでくる事が出来ました。私は絵が好きで美術科に入りましたが、最初に様々な芸術を学んでいくうちに、今まで全く接点のない彫刻に興味を持ち始めました。今思うと、あの時の自分の直感を信じてこの道に進んで正解だったと思います。これから入学されるみなさんもどの道に進むのか悩む事が必ず来ると思います。自分の直感と好奇心を信じて頑張ってください。



**東谷花奈美さん 尾道市立大学芸術文化学部美術学科油画コース専攻 1 年生
令和4（2022）年度卒業**

私は、美術科で、個性豊かなクラスメイトと切磋琢磨しながら作品作りができたことがとても楽しかったです。授業後や土曜日もアトリエが開いていて、自分が満足できるまで作品を制作することができました。先生方は、一人ひとりに熱心に指導して下さるとともに、進路や受験対策の相談など、親身になって話を聞いてくださいました。東邦高校は美術を学ぶのにとてもよい環境だと思うので、心ゆくまで制作をして、素敵な高校生活を送って下さい。

30周年を迎えた 美術科の新拠点「創作棟」がオープン



Open!!

創作棟は、「制作に集中できる創作環境」と
「地域に根差した東邦の新たなシンボル」を目指して誕生しました。

☁ 創作棟がもたらす3つの影響 ☁

同じ空間で4専攻が刺激し合える創作環境

創作棟では、4専攻すべてが一つの建物で制作活動が行え、生徒たちが、専攻に関係なく互いの作品を見合い、刺激し合えます。また、各アトリエの間は、稼働壁があるので、一つの大きな空間になっているので、隣のスペースで行っている講評の声や作品制作の音などが聞こえ、活気にあふれた教育現場を実現することができました。これらの環境は、現代の美術教育における理想的な“専攻の領域を超えた創造の場”になりました。

人と自然が感じられる伸び伸びとした環境

創作棟の2階では、最も理想である北側からの採光が実現しました。そして、室内側が曲面となった採光窓からは、常に安定した柔らかな自然光が降り注ぎ、より理想的な環境で創作活動に集中できるようになりました。創作棟の1階では、大きなガラス窓で囲われ、窓を開けると創作棟全体に風が通るような気持ちの良い空間になっています。そして、近隣の公園で遊ぶ幼稚園児の声や鳥のさえずりも聞こえ、生徒は、人と自然を感じながら伸び伸びとした環境で創作活動ができます。この様に教室棟にはない非日常的な環境を創作棟で感じることができ、生徒たちの創作活動に大きく影響していることは間違いありません。

地域に開かれ、愛される美術科に

創作棟は、展示の機能も備えています。1階の道路に面した入口付近をガラス張りにし、授業で制作した作品や卒業制作の優秀作品などを地域の人たちにも見てもらえるようなギャラリースペースにしています。そして、正面から見た外観も美術のイメージに相応しいモダンな建築になっており、地域のアイコンとして文化的な発信の場を担っていきます。今後は、幼稚園児や小学生に向けたワークショップなどの企画も立てるなど、様々な活動を通して、創作棟が学園だけのものではなく、長きにわたり、地域に親まれ、愛される存在になることを目指していきます。